



落語

ひとりで広がる笑いの世界



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

落語の世界	3～4
落語の演じ方	5～7
落語の種類	8～9
落語の場	10～12
落語を楽しむ	13～15
確かめよう	16～19
くらべる・疑問	20～22
おさらい	23～25
つたえる	26～28
まとめ	29～30

落語がどんな芸なのかを知りましょう。

何人もの登場人物を、声の高さや話し方を変えながらひとりで演じ分け、最後は**オチ**（さげ）と呼ばれる落ちで話を結びます。



落語を演じる人。「噺家」とも呼ぶ

話の最後にくる、落語の落ち

- 舞台の道具は少なく、演者の話し方と表情だけで、街の様子や人物が浮かび上がります。
- 聞き手が想像力を使って情景を思いえがく芸能です。

1. 落語を見たり聞いたりしたことがありますか。

落語の歴史

落語がどのように生まれ、育ってきたのかを学びます。

落語は、江戸時代に人々を笑わせる話芸として発展してきたといわれています。町なかで面白い話を聞かせる人々が、しだいに芸として磨き上げていきました。以来、江戸（東京）と上方（京都・大阪）それぞれの土地で受け継がれ、今も多くの落語家によって演じ続けられています。



ポイント

- 何百年もの間、師匠から弟子へと、話や芸のこつが受け継がれてきました。
- 古くからの物語だけでなく、時代に合わせた新しい話も生まれ続けています。

やってみよう

1. 落語が長く受け継がれてきた理由を、自分なりに考えてみよう。

書いて覚えよう

ひとりで演じる芸・扇子と手ぬぐい

落語家がどのように物語を演じるのかを学びます。

落語家は、衣装も舞台装置もほとんど使わず、ひとりで何人もの登場人物を演じ分けます。声の調子や向きを変えるだけで、話す相手がだれかが伝わります。
小道具として使うのは、おもに**扇子**と**手ぬぐい**の2つだけです。



道具

見立てる例

扇子

はし、きせる、筆など

手ぬぐい

手紙、さいふ、本など

ポイント

- 少ない道具を、さまざまなものに見立てて使うのが落語の大きな特徴です。

やってみよう

- もし扇子を1つの道具に見立てるなら、何にしたいですか。 _____

書いて覚えよう

- 落語家は、そばを食べる音や歩く様子などを、体の動きだけで表現します。実物がなくても、見ている人には自然と伝わってきます。
- 本題に入る前の短い話を **まくら** といいます。世間話や小噺で場をあたため、聞き手の気持ちをほぐす役目があります。

うん、しぐさと音だけで、本当にそばをすすっているみたいに見えるんだよ。

1. 何かを食べるしぐさを、道具を使わずにやってみよう。

落語の物語の組み立てを学びます。

- まくらのあとに続くのが**本題**で、落語の中心となる物語です。
- 話の最後には、思いがけないひとことや行動で笑いを生む**オチ**（さげ）があります。
- オチには、ことば遊びを使うものや、話のつじつまを逆手にとるものなど、いくつかの型があります。

1. 「最後にどんでん返しがある話」を1つ思い出してみよう。

書いて覚えよう

古典落語・新作落語

落語には、古くからの話と新しい話があります。

古典落語

江戸時代から伝わる話

昔の暮らしが舞台

長く受け継がれてきた

型や演出も伝統的

師匠から弟子へ受け継ぐ

新作落語

新しく作られた話

今の暮らしが舞台

現代の道具や出来事も登場

落語家が自ら作ることも

時代に合わせて生まれ続ける

ポイント

- 古典落語も、演じる人によって少しずつ味わいがちがいます。

やってみよう

- 今の暮らしを題材にした新作落語があったら、どんな話にしたいですか。

書いて覚えよう

9

1回の公演で何人もの演者が入れかわり、少しずつちがう演目や芸を楽しめるのが特徴です。



- 寄席には、初めて行く人でも気軽に楽しめる公演も多くあります。

やってみよう

1. 寄席に行けたら、どんな演目を見てみたいですか。

書いて覚えよう

落語家の階級や、よく知られた演目を学びます。

11

Lesson
14-15

時そば・寿限無

代表的な演目を2つ、くわしく知ましょう。

時そば

内容

屋台のそば屋でお金をごまかそうとする話

見どころ

そばをすするしぐさと数のかぞえ方

寿限無

内容

親が子どもにとっても長い名前をつける話

見どころ

長い名前を何度も言うことは遊び

ポイント

- どちらも、江戸時代から親しまれてきた**古典落語**の代表的な演目といわれています。

やってみよう

1. どちらの演目を先に聞いてみたいですか。理由も書こう。

書いて覚えよう

- 落語の笑いは、はでな仕かけではなく、人のちょっとした失敗やかんちがいから生まれることが多いです。
- ことば遊びや、話の流れを逆手にとった意外なオチも、落語らしい笑いの1つです。

1. 身近な人のちょっとした失敗談で、思わず笑ってしまったことを書こう。

落語の聞き方・小噺をやってみよう

落語の聞き方と、短い話を作るコツを学びます。

ポイント

- 寄席では、話の途中で静かに聞き、面白いところで自然に笑うのがマナーです。
- 小噺は、落語より短く、ひとことオチのついた小さな話です。落語の練習にもよく使われます。

やってみよう

2. 家族や友だちの前で、考えた小噺を話してみよう。

ワンポイント うまく笑わせられなくても大丈夫。考えて話してみることで自分が、落語を知る第一歩です。

書いて覚えよう

落語の魅力

落語ならではの魅力を、あらためて考えてみましょう。

ポイント

- 道具も舞台装置もほとんどないのに、聞き手の想像の中に、にぎやかな街や人物が生まれてきます。
- 同じ演目でも、演じる人によって、まったくちがう味わいになります。

やってみよう

1. 落語のどんなところが魅力だと感じますか。

書いて覚えよう

座布団の座り方

映像で見ると、しぐさの細かさがよくわかります。

- 落語家の座り方や道具の使い方に注目して見てみましょう。

1. 印象に残った落語のしぐさを1つ書こう。

16

体験してみよう

落語のしぐさや話を、実際に体験してみましょう。

やってみよう

そばをすするしぐさ

扇子を道具に見立てる

小嘯を考える

家族の前で話してみる

扇子がなければ、うちわや棒でも代用できます。

ポイント

- 実際にやってみると、しぐさだけで伝える難しさと楽しさがわかります。

やってみよう

1. この中から1つえらんで体験し、気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

18

地域によるちがい

落語には、地域によるちがいもあります。

ポイント

- 江戸落語と上方落語では、演出や道具の使い方にちがいがあります。
- 「落語は必ずこうだ」と決めつけず、地域や流派によるちがいを楽しみましょう。

やってみよう

1. 住んでいる地域に近いのは江戸落語・上方落語のどちらか調べてみよう。

書いて覚えよう

以前の落語

その場で楽しむ芸だった

師匠の話をそのまま受け継ぐ

今の落語

配信や録画でも見られる

今の暮らしを題材にした話も多い

- 形は変わっても、ひとりで演じる話芸の魅力は今も受け継がれています。

1. 映像と生の寄席、どちらで落語を見てみたいですか。

A. もちろんです。短い小唄やわかりやすい演目から楽しめます。

- わからないことばがあっても、まずは雰囲気を楽しむことから始めてみましょう。

1. 落語について疑問に思うことを1つ書こう。

21

マナーと注意点

落語を楽しむとき、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 寄席では、演目の途中で席を立たず、静かに聞くことが大切です。
- 写真や録音は、してよい場所か必ず確認しましょう。
- 演じている人の話を最後まで聞いてから、感想を伝えましょう。

ワンポイント 笑うタイミングがわからなくても、心配いりません。まずは物語を楽しんで聞いてみましょう。

やってみよう

1. 寄席に行くとき、気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

落語のことば

☐ まくら

本題の前に話す短い話

☐ オチ

話の最後にくる落ち

☐ 小噺

短くオチのついた小さな話

落語の場と人

☐ 寄席

話芸を見られる劇場

☐ 落語家

落語を演じる人

☐ 真打

落語家の最も上の階級

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、落語がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

- | | | |
|--------------------------|-----------------|--------------|
| ☐ | 落語がどんな芸か説明できる | ひとりで演じ分ける話芸 |
| ☐ | 扇子と手ぬぐいの使い方を言える | いろいろなものに見立てる |
| ☐ | まくら・オチの意味を説明できる | 話の始まりと終わり |
| ☐ | 落語の演目を1つ以上知っている | 時そば・寿限無など |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだ落語の魅力を、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたい話題

由来や意味

自分が感じたこと

相手に聞いてみたいこと

Ken の例

伝えたい話題 扇子と手ぬぐいの見立て／由来や意味 少ない道具でいろいろな物を表す工夫／自分が感じたこと 想像力のすごさに驚いた／聞いてみたいこと 他の国にも似た話芸があるか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

落語を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

落語

rakugo (Japanese comic storytelling)

ひとりで演じる、笑いのある話芸

オチ

punchline

話の最後にくる落ち

Emma

落語のことを、海外の友だちにどう紹介しようかな。



Ken

「ひとりでたくさんの人物を演じる、笑える話芸」って伝えるとわかりやすいよ。

ポイント

- すべてを直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

やってみよう

1. 紹介したい落語の魅力を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

落語の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

落語の本を借りる

寄席へ

生の落語を見に行く

映像で

落語家の演目を見る

次に学びたいテーマ

歌舞伎

はなやかな舞台芸能

能・狂言

面をつけた芸能

民話

地域に伝わる物語

ポイント

- 落語を知ると、他の舞台芸能もより興味深く感じられます。

書いて覚えよう

落語チャレンジ

教室の外でも、落語の楽しさはすぐに味わえます。

見てみよう

落語の映像を1つ見つける

やってみよう

扇子や手ぬぐいで道具を見立てる

話してみよう

考えた小噺を家族に披露する

こたえ

L28 まくら→エ オチ→オ 寄席→イ 小噺→ア 真打→ウ 2. 正しい
／ まちがい

L33 (例) 落語とは、ひとりの演者が声としぐさだけで、何人もの人物や物語を演じる話芸。

書いて覚えよう

落語 (Season 4 | No.35)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。